



# 茶内小だより

茶小の教育目標 ○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

## 人間関係を学ぶ

茶内小学校の子どもたちは、「素直で優しい。」「学習に真面目に取り組む。」「男女の仲がよい。」「学習規律や生活のルールはしっかり守る。」「高学年が低学年に対して面倒見がいい。」「気持ちの優しい子が多い。」「言葉遣いが優しい」などなど。家庭や地域で温かく育てられた子どもたちが、毎日元気に、学習に運動に励んでいます。

日常の学校生活の中で、「いじめはどんなことがあってもだめ」「人の気持ちを感じられる人に」を、常に頭に入れて指導しています。温かい家庭や地域で育てられた茶内小の子どもたちにとっては、2つともごく当たり前の事ですが、正直そんなに簡単な事ではないと思っています。実際、テレビなどで見る大人の世界においてさえ、首をかきあげるような事があるのを見聞きする度そう思います。

これまで勤務してきた学校で子どもたちのトラブルの様子を見ていると、自分のことを棚に上げて「だって〇〇ちゃんが…」と、相手への攻撃を正当化する場面が多々あります。また、いじめた場合も「(相手が)嫌がる様子がなかった(笑っていた)から…」という勝手な主張がよく聞かれます。…と言いながら、私も常に相手の心情をしっかり考えながら人と接していたかという、自信がありません。しかし、どんなに難しいことであろうと、上にあげた二つの事は誰もが当たり前のこととおさえるべき事であり、そのためにも子どもたちの人間関係の問題解決能力を育てる事が大切だと思うのです。

## 主体的な学びを意識した学習発表会へ

今年はコロナウイルス感染拡大防止のため、体育館での一斉開催が厳しいこと、練習時から三密を避けることを考え、学芸会という形ではなく、学年で授業で培い学んできた成果の発表として、学年別学習発表会を開催することと致しました。学習指導要領が改訂し、「主体的・対話的・深い学び」を通して子供たちに確かな力を身につけるために授業改善に努めておりますが、行事のあり方についても変革が求められています。

子供たちが主体的に自ら課題を見つけること、問題に気づいて協働して解決していくこと、教科で学習してきたことを総動員することなどです。それらを育てるための適した学習活動を検討した結果、これからの時代を生きるための力の育成の成果を、総合的に発表する学習発表会に進化・深化させることにいたしました。

保護者・地域・関係機関等の協力で、新たな挑戦に努力していきたいと思っております。学習発表会の開催は2月の予定です。

日常の教育活動につきましては、学校ホームページをご覧ください。



<https://www.townhamanaka.jp/chan>

校長 飯屋崎 修



「読み聞かせ」でもICTの活用を



「優しさ」から「共生」へ



浜中町の食材を使った食べ物作り

## 12月行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	火	参観日(中学年)
2	水	参観日(高学年) みんなの広場(図書委員)
3	木	たてわり班清掃
4	金	クラブ(最終)
5	土	土曜授業中止 PTAもちつき会中止
6	日	
7	月	
8	火	浜中町学力調査(国語・社会 ※外国語)
9	水	浜中町学力調査(算数・理科)
10	木	歯科検診(1~3年)
11	金	歯科検診(4~6年) 児童委員会
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	たてわり班清掃
18	金	期末清掃(~23日)
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	大掃除(5時間目)
24	木	
25	金	2学期終業式(給食あり:午前授業)
26	土	冬期休業日①
27	日	冬期休業日②
28	月	冬期休業日③
29	火	冬期休業日④ 学校閉庁
30	水	冬期休業日⑤ 学校閉庁
31	木	冬期休業日⑥ 学校閉庁

日没が早くなっています。帰宅時刻の4時には、家の中にいるようにしましょう。

# 令和2年度いじめアンケート結果 (茶小)

10月末に「いじめアンケート」を実施しました。アンケートの結果については、以下のとおりとなっています。結果を受けて、担任は児童一人一人と面談を実施しました。面談をしながら事実を明らかにし、すぐに改善できることは改善し、家庭との連携が必要なときは、ご連絡をしているところです。

「いじめは許されないこと」であると98%以上の児童が捉えていることは、喜ばしいですが、一方で「わかっているけど……」という部分もあります。大人でも人の好き嫌いはあります。子どもにもあって当然です。ですから、どのように相手のことを理解して、ふるまうかを考えていく必要があります。学校は、人間関係を学ぶ場でもありますから、友だちとのトラブルが起きたら、人間関係の学習をするチャンスとして捉えてはどうでしょうか。

しかし、本校の児童の中には、「誰にも相談しない」と答えている児童が20人います。この数字は少ない数字ではありません。日常的に相談相手がない状況を作らないよう学校・家庭・地域・関係機関が連携をしていくことの大切さを教えてくれる数字とも言えます。子どもが発するサインは、学校だけで見つけられるものではありませんので、ご自宅に戻られたお子さんの言動等で気になることがありましたら、担任まで報告をいただき、今後の過ごし方・居場所づくり等の相談ができればと思います。

- あなたは、今年の4月から今日まで2のA～クのようなことをされていやなおもいをしたことがありますか。 ある 19人 ない 88人
- どんなことをされましたか。すべてに○をつけてください。
 

ア 冷やかしかからかい、悪口を言われる	10人	イ 仲間外れや無視をされる	2人
ウ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたりする	4人	エ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、けられたりする	4人
オ お金や持ち物を隠されたり、いたずらされたりする	2人	カ 恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする	2人
キ メールや無料通話アプリ(SNS)で悪口を書かれたり、仲間外れにされたりする	1人		
ク その他(仕事を任せられる 本当のことを言っているのに嘘だと言われる)			
- 2のことで今も嫌な思いをしていますか している 10人 していない 9人
- あなたは、嫌な思いをした時に誰に相談しますか。全てに○をつけてください。
 

ア 先生	45人	イ スクールカウンセラー	0人	ウ 友だち	48人
エ 父母	67人	オ 兄弟や姉妹	22人	カ 電話相談	10人
キ メール等相談窓口	0人	ク 誰も相談しない	20人		
ケ その他(祖父・祖母・いとこ・人形)					
- 今年の4月から今日まで、友だちが嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。 ある 20人 ない 87人
- 学校「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」が配られています、そのカードをしていますか。 知っている 78人 知らない 29人
- 「いじめ」は、どんな理由があっても許されないことだと思いますか。 そう思う 105人 そう思わない 1人 よくわからない 1人



関わり合う活動①(チャナリンピック)



関わり合う活動②(ジャンプタッチ)



関わり合う活動③(地域の方と学ぶ)

※豊かな体験活動、対話を大切に学習活動を通して、自然や人・地域と関わるよさを感じることが大切です。

# 公開研究会～読書活動推進事業

19日(木)に、読書活動推進事業公開研究会がありました。この事業で茶内小は

- ①図書環境の整備
  - ②児童による図書館活用
- の2点に重点をかけて取り組んできました。図書環境の整備では、浜中町教育委員会にご指導ご協力をいただき、3470冊の図書をデジタル管理することができるようになりました。バーコードを貼ったり、ブックカバーをつけたりする際には、保護者の皆様にご協力をいただきました。ありがとうございました。

当日は、町内の先生方に図書コーナーの整備状況や利用している児童の状況を見ていただいたり、5年1組の図書を活用した授業を参観し、読書活動の充実について検討することができました。授業は5年生担任関向央奈先生、手代木了先生が公開をしました。約1ヶ月の学習で読書の世界を広げてきたこと、紹介をするための本の読み方を学んだことを町内の先生方に見ていただくことができました。



5年生の授業公開



授業についての協議会

# 読み聞かせイベント(11/5)

ボランティアの皆さんが大型絵本や紙芝居による読み聞かせをしてくださいました。低学年は、図書コーナーに集まり、真剣な眼差しで参加していました。2階や階段のあたりから見ている高学年の子もいました。今後も継続してイベントを開催していく予定ですが、ボランティアの方が増えていくとより充実していくと考えています。ご協力いただける方は、学校までご連絡ください。

☎65-2252(教頭)

